

## 県政レポート

ほんまに  
ゆるやかな

VOL.12

Go!  
Go!  
白井  
ゆきのり

白井ゆきのり

検索



## 全国都市緑化フェアの地元開催を！

『緑』ゆたかなまちづくり』窓辺に花を・くらしに緑を・街に  
緑を・あしたの緑をいまつくろう。

全国都市緑化フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、昭和58年(1983年)から毎年、全国各地で開催されている「花と緑の祭典」で、都市緑化の推進を目的とした国内最大級の緑のイベントです。

## ポイント1 人々の心を魅了する、集客力が高い花・緑のイベント

全国都市緑化フェアは毎年各地で開催されています。これは花や緑が普遍的な魅力を有していることや、フェアが都市緑化をテーマとした緑ある暮らし、街づくり等、多くの方に興味、期待値が大きいイベントであるためと考えられます。



第72回全国植樹祭しが2022

## ポイント2 広範囲の地域から多くのお客様の来場を誘うイベント

国内や海外からも、花や緑に興味のある多くの方々が来訪します。都市緑化意識の啓発や情報発信だけでなく、開催公共団体の魅力を知っていただくことによる観光振興、個人消費による経済的な波及にも効果が期待できます。

昨年は甲賀市「鹿深夢の森」を中心に全国植樹祭が開催されました。これは全国各地から緑化関係者等の参加を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されています。

全国植樹祭は「森林」、これに対し都市緑化フェアは「花」のイベントと言えます。

## ポイント3 皇室をお迎えする『全国都市緑化祭』を開催

全国都市緑化祭では、皇室からの『おことば』や『みどりの社会貢献賞』の授与、『庭園コンテスト』の表彰、フェア会場での皇室による『記念植樹』等が行われ、地元の緑化活動関係者等の方々にとって大きな励みとなっています。



皇室佳子様恵庭市にて



2022年 北海道恵庭市にて開催



水生植物公園 みずの森

滋賀県造園協会も開催を熱望されていますが、近畿では滋賀と和歌山が未開催です。

イベントの来場見込みは100万人以上、経済効果は約80億円と地域の活性化にもつながることから、滋賀県や近隣市と一緒に取り組むたいと考えています。

水生植物公園  
みずの森

## 令和5年度は仙台市で開催！（最近の開催地と開催予定地）

第34回	平成29年度	みどりの丘の花絵巻はちおうじ2017	八王子市	30日間
第35回	平成30年度	山口ゆめ花博	山口県・山口市	51日間
第36回	令和元年度	信州花フェスタ2019	長野県松本市塩尻市安曇野市大町市	53日間
第37回	令和2年度	ひろしまはなのわ2020	広島県・広島市他22市町	250日間
第38回	令和3年度	くまもと花とみどりの博覧会	熊本市	65日間
第39回	令和4年度	ガーデンフェスタ北海道2022	北海道・恵庭市	30日間
第40回	令和5年度	未来の杜せんたい2023	仙台市	54日間
第41回	令和6年度(2024年)	テーマ未定	川崎市	(50日間程度)
第42回	令和7年度(2025年)		岐阜県の予定	
第43回	令和8年度(2026年)		未定	
第44回	令和9年度(2027年)		横浜市の予定	
第45回	令和10年度(2028年)		佐賀県の予定	
第46回	令和11年度(2029年)		未定	

全国都市緑化フェアも一過性のイベントとしてではなく、しっかりと地域に「緑化意識」が根付かなければなりません。草津市では2021年9月に公園整備や緑化の推進などに関する施策を総合的に進めるため、「第3次草津市みどりの基本計画」を策定しました。「ガーデンシティさつ」の実現を目指す取り組みを通じて、健康都市づくりを推進するとともに、既存公園などの魅力を高め、より多くの市民などに公園を利活用していただけるよう基本方針を定めていますから、この計画と整合するように進めたいと思います。



草津市 de 愛ひろば



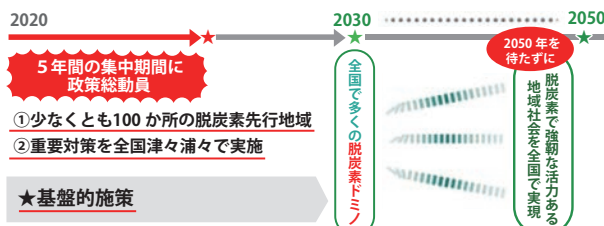
## 「脱炭素先行地域」の選定に向けて！

環境省は2030年度までにカーボンニュートラルを実現する、全国のモデルとなる脱炭素先行地域となる自治体を募集しています。カーボンニュートラルとは温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年にパリ協定が採択され、世界共通の長期目標として、取組を進めており、120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げているところです。

将来の世代も安心して暮らせる、持続可能な経済社会をつくるため、今から、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、取り組む必要があります。

「地域脱炭素ロードマップ」では、地方自治体や地元企業・金融機関が中心となり、環境省を中心に国も積極的に支援しながら、少なくとも100か所の脱炭素先行地域で、2025年度までに、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋をつけ、農山漁村、離島、都市部の街区など多様な地域において、地域課題を同時解決し、住民の暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示すこととしています。



なぜ脱炭素を地域で取り組むのか、それは地域脱炭素が、地域の課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に貢献できるからです。

## 「脱炭素は地域の成長戦略になる」

新型コロナウイルス感染症流行からの経済復興においても、世界の多くの国や地域で、持続可能で脱炭素な方向の復興が重視されています。例えば、電動自動車への急速な転換など、脱炭素への移行が加速しています。

環境対策は経済的に負担のあるものではなく、もはや経済成長の源泉なのです。そうした世界の潮流に乗り遅れば、国内産業や国力の衰退にもつながりかねません。地域経済でも同様に、脱炭素をできるだけ早期に実現することが、地域の企業立地・投資上の魅力を高め、地域の産業の競争力を維持向上させるなど、地域の成長戦略において、極めて重要な要素になっていくのです。

## 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金により支援がある

意欲的な脱炭素の取組を行う地方公共団体等に対して、脱炭素先行地域づくり事業については原則2/3、重点対策加速化事業への支援2/3～1/3、5年間で最大50億円の交付金が受けられるようになっています。

## 「脱炭素で地域の農業問題の解決を！」

地域の農業が抱える多くの問題は「高齢化・担い手不足」「耕作放棄地の増加」「価格競争」など、深刻な問題を多く抱えています。

## 1. 高齢化等による担い手の減少

農業の担い手不足と高齢化の問題は、長い間指摘され続け、様々な政策を行ってきたにもかかわらず未だ改善が見られません。自営農業を仕事にしている「基幹的農業従事者」の減少は止まらず、その平均年齢も上昇しています。

## 2. 耕作放棄地の増加

耕作放棄地や荒廃農地の増加も、長い間認知されながらも改善できない深刻な問題です。

高齢化や労働力不足、合わせて新規営農者が少ないことにより、耕作放棄地が増加している。

## 3. 価格競争に巻き込まれない農作物のブランド化をめざす

持続可能な農業経営を実現するためには、小規模でも作物に高付加価値をつけてブランド化し、単価の向上をめざす方法や自ら栽培した作物を使って加工・製造した商品を販売すること、つまり6次産業化することで付加価値を高め、売り上げを伸ばす方法があります。

農業は本来、自由でやりがいや喜びに満ちた職業です。ピンチをチャンスと捉え、地域を巻き込みながら問題解決に取り組ましよう。



# このまちに生まれ、 心から「良かった!」と思える 滋賀・草津を一緒に!

## 白井ゆきのり

### ■プロフィール

- ・昭和37年8月  
草津市志那町に生まれる
- ・常盤小学校・松原中学校卒業
- ・県立守山高等学校卒業
- ・京都産業大学経営学部卒業
- ・日本政策学校卒業(第9期生)
- ・滋賀県議会議員



### スポーツで、 まちを元気に!健康に!

2025年開催「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の会場として、草津駅西口から徒歩10分の場所に、**全国屈指の「市立プール」**の建設工事が進んでいます。大会後も地元から優れたアスリートが輩出できるよう盛り上げていきたいと思えます。県民の皆様との健康づくりに役立ち、スポーツに親しめる環境や施設の整備を進めていきます。



### CO<sub>2</sub>ネットゼロ。 脱炭素の未来へ!

2050年の「**カーボンニュートラル**」に向けて、草津市もゼロカーボンシティ実現に向けての取り組みを加速するよう提言しています。このカーボンニュートラルへの挑戦が、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きなビジネスチャンスをもたらすと考えます。そして、私たちのライフスタイルの転換など、未来へ向かう私たちへの重要な取り組みを行います。



### 安全に安心して 暮らせる地域をつくる!

道路網の整備については、災害が起こったときに、救助はもとより物資輸送と円滑な復旧活動の基盤となる重要な整備と考えています。琵琶湖の東西を結ぶ道路の需要と、通行量のバランスの取れた整備を進めなければなりません。「滋賀県総合交通ネットワーク構想」にある、琵琶湖を東西に結ぶ「**南湖横断軸(第3大橋)**」の検討を要望しています。



### 滋賀・草津、 経済の活性化を!

公園の魅力高め、都市の緑化に関する知識の普及を図り、さらに緑豊かな潤いのある都市づくりを進めるため、「**全国都市緑化フェア**」の地元開催を目指し、全国からの誘客に取り組みます。

農業・水産業の活性化については、6次産業化や製品のブランド力向上の取り組み等に対する支援や、専門家の知見を生かした生産性の向上、所得の向上を目指します。



### ICT技術で医療 体制の充実を!

ICT技術は、医療の分野・介護にかかわる分野で、患者さまの診療情報・介護情報・療養情報を共有し、切れ目のない質の高い医療・介護サービスを受けられる仕組みづくりに役立ちます。また、様々な情報の蓄積は、それらを分析・評価することで、研究や医療の発展・推進を図ることができます。全国に先駆けて、「**先進的なモデル**」づくりに挑戦していきます。



### 子どもは まち一番の宝物!

子どもを安心して産み、育てる喜びが実感できる、「**子育て支援**」が十分に行き届いたまちづくりを目指します。地域との関わりを大切にしながら、様々な困難を有する子ども・若者に対して、本人だけでなくその家族も含め、必要とする支援が受けられるような取り組みを進めます。このまちに生まれ・育ち・学び・働いて、心から良かったと思える地域社会を目指します。

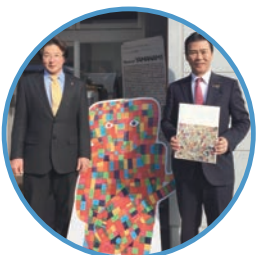


夢や希望の持てる  
未来のために

### みんなにやさしい 共生社会へ!

「**誰一人取り残さない**」人権が尊重される豊かな社会の実現を目指すことは、人権問題を解決する上で、最も重要な理念であると考えています。

人権意識は社会の変化に大きく起因するところもあります。多様性を尊重する共生社会づくりを進めるために、ユニバーサルデザイン、ダイバーシティの視点に立ったまちづくりが大切です。



### シニアの皆様の 暮らしの充実!

よりよい地域づくりのためにがんばってこられたシニア世代の皆様へ、あらためて感謝と敬意を表します。シニアの皆様の生きがいと健康増進に資するような施策を進めます。また、人生100年時代に向けた医療・福祉の充実や生きがいづくりは、これからの地域社会に大切な視点と捉えています。

「**生涯現役**」をモットーに、いつまでも元気で活躍し続けられる社会をつくりたいです。



**自民党 創りましょう! 夢や希望にあふれる滋賀・草津を**

この紙面に関するお問合せは、  
白井ゆきのり後援会まで

白井ゆきのり後援会事務所

〒525-0034 滋賀県草津市草津3丁目13番7号 TEL:077-568-5017 fax:077-568-5033